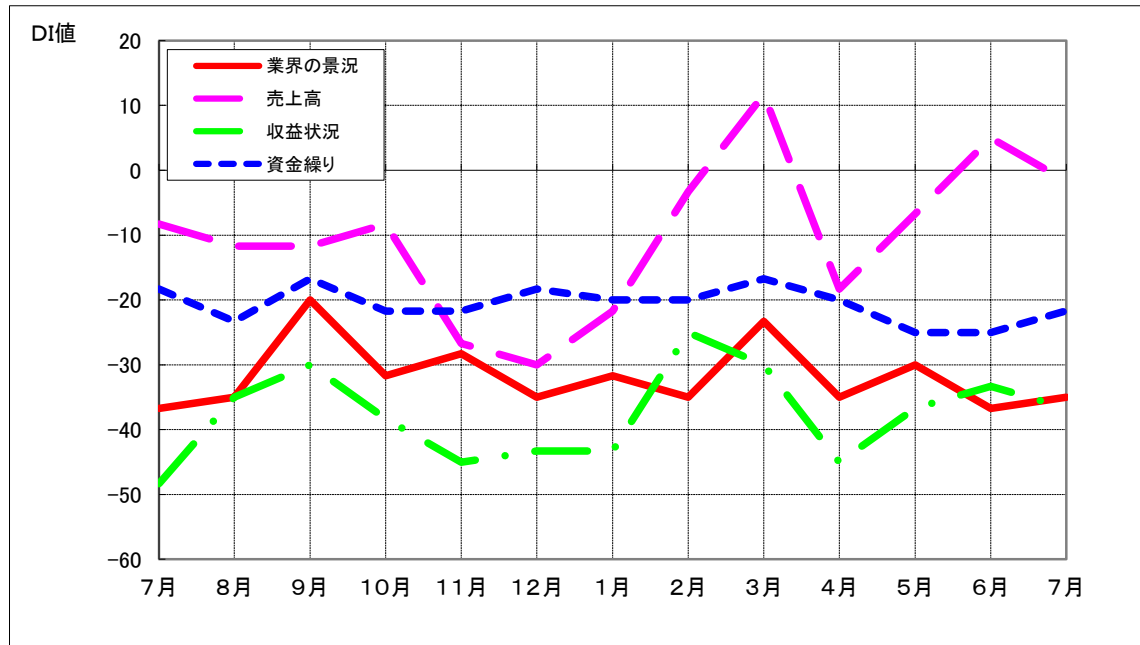


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和4年7月～令和5年7月

単位:ポイント



	R4						R5						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
業界の景況	-36.7	-35.0	-20.0	-31.7	-28.3	-35.0	-31.7	-35.0	-23.3	-35.0	-30.0	-36.7	-35.0
売上高	-8.3	-11.7	-11.7	-8.3	-26.7	-30.0	-21.7	-3.3	11.7	-18.3	-6.7	5.0	-1.7
収益状況	-48.3	-35.0	-30.0	-38.3	-45.0	-43.3	-43.3	-25.0	-30.0	-45.0	-36.7	-33.3	-36.7
資金繰り	-18.3	-23.3	-16.7	-21.7	-21.7	-18.3	-20.0	-20.0	-16.7	-20.0	-25.0	-25.0	-21.7

7月のDI値は前月と比べ、2項目改善、2項目悪化となった。「業界の景況」DI値は1.7ポイント改善のマイナス35.0ポイント、「売上高」DI値は6.7ポイント悪化のマイナス1.7ポイント、「収益状況」DI値は3.4ポイント悪化のマイナス36.7ポイント、「資金繰り」DI値は3.3ポイント改善のマイナス21.7ポイントとなった。

前年同月比でみると、3項目改善、1項目悪化となった。「業界の景況」DI値は1.7ポイント改善、「売上高」DI値は6.6ポイント改善、「収益状況」DI値は11.6ポイント改善、「資金繰り」DI値は3.4ポイント悪化となった。

製造業においては、引き続き、原材料や燃料、電気料、資材等価格の高止まりや高騰及び運搬費の上昇等により収益が悪化している。特に鉄鋼・金属業では、消費者の購買意欲の低下、家計の引き締めも加わり苦慮しているとの報告がある。窯業・土石製品業では、コスト増加を踏まえ販売価格を上げたが十分ではなく、価格転嫁が追い付いていない。

非製造業においては、卸売業の一部で売上が回復しつつあるが、暑さの影響もあり、伸び悩んでいるとの報告がある。一方で、旅館・ホテルやタクシーなどは需要に対応しにくい等、人手不足の影響が出始めている。商店街では来街者が戻りつつあるものの、収益改善までは至っていない。